

## 第3回学校運営協議会記録

令和8年2月13日（金）

10:00～11:50

### 1 開会・校長挨拶

#### 【開会の挨拶】（司会）

- ・第3回学校運営協議会の開会を宣言し、今年度の取り組みと自己評価を踏まえ、来年度に向けた課題や方向性を検討する有意義な会にしたい。

#### 【校長挨拶】（校長）

- ・設立2年目を終え、来年度はいよいよ**3学年が揃う完成年度**となることへの喜びと期待
- ・入試での新入生の意欲的な姿に身が引き締まる思いであるとともに、県の厳しい財政状況や小山高校との連携の在り方（分校独自の学習形態の整備など）について、引き続き支援と助言をお願いしたい。

### 2 分校の取組報告

- ・地域連携の成果として、学校より以下の活動を報告

#### 美術作品の展示

- ・「ワークホーム・アップル」での展示が、生徒の自信と地域への周知に繋がった。

#### 作業製品の販売

- ・足柄温泉や小山町役場での販売を通じ、生徒が直接地域の方と関わり、達成感を味わうことができた。

#### 企業・団体との協働

- ・日立ハイテクアナリシスとの「インセクトホテル」補修や、JA 富士伊豆との花植えを通じ、働く大人と交流をすることができた。

#### 小学校交流

- ・足柄小学校での清掃や昼食、昼休みの遊びを通じ、自然な交流が生まれた。

（委員）：第2回会議から現在までの活動の広がりには驚き、非常に良い方向に行っている。

（委員）：今後は、商工祭などの学校行事に地域住民を招待するなど、一過性ではない**継続的な繋がり**を作ることが重要である。

（委員）：企業での昼食会など、大人とのさらなる交流機会の提供を提案。

### 3 学校自己評価報告

- ・以下の3つの柱に沿って成果と課題を学校より報告

#### 『守る（安全・安心）』

- ・生徒が安心感を持って過ごしている一方、**時間管理の徹底**や**SNS等の情報モラル学習**が今後の課題。

#### 『育む（学びと成長）』

- ・ICT（Chromebook）活用で表現の幅が広がった。今後は「何のために学ぶか」という**目標と評価の結びつき**を強める必要がある。

#### 『つなぐ（地域・社会）』

- ・地域や企業との繋がりは深まった。活動をやりっぱなしにせず、生徒が自身の貢献を実感できる**計画的な振り返り**を重視していく。

### 4 取組についての協議

**（委員）**：町の「総合計画」の表紙に分校生の絵が採用されたことを報告し、共生社会の実現に向けた協力を強調。

**（委員）**：生徒アンケートで「自分の体を守る」項目に否定的な回答がある点を懸念。

**（学校）**：生徒は自転車の転倒などの経験から正直に回答しており、危険を教えるとともに、自信を持ってない生徒への心のケアも行っている。

**（委員）**：ICT機器の利便性の一方で、ネットの匿名性や依存、教育効果への疑念を呈し、慎重な対応を求める。

**（学校）**：県の指示による厳格なルール運用に加え、技術的な操作だけでなく、**相手はどう思うかというコミュニケーションの本質**を指導していくことが重要。

**（委員）**：静岡県東部は早期支援が遅れているとの指摘があるため、分校の「センター的役割」を活かし、早い段階で診断や支援に繋げることが重要。

**（委員）**：日本の学校は過密だが、幸福度を高めるには「雑談」や「ゆとり」が不可欠である。教員の監視下ではない「余暇の過ごし方」を学ぶことが自立に繋がる。

**（学校）**：生徒会主体でのレクリエーション実施など、教員が介入しすぎず生徒同士で楽しむ経験を積みさせていきたい。

**（委員）**：来年度は3学年が揃う「勝負の年」となるため、教職員間で「目指すべきゴール（イメージ）」を共有し、先生方自身の達成感も大切にしながら取り組んでほしい。

### 5 閉会（司会）

- ・協議会の議事がすべて終了したことを確認し、委員から寄せられた多くの貴重な意見や助言に対し、感謝の言葉を述べ閉会